

人はみな、  
生かされて  
生きてゆく。  
更生保護ネットワーク



鳥取更生保護

サポートセンターだより

22号 令和6年1月  
発行 鳥取更生保護サポートセンター  
鳥取市幸町151 鳥取市人権交流プラザ2階  
Tel・Fax 0857-21-3203  
E-mail [torihogosapo@herb.ocn.ne.jp](mailto:torihogosapo@herb.ocn.ne.jp)



## 新年のご挨拶

サポートセンター長 浅尾久忍子

明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナの呪縛から4年振りに開放され、様々な事業がコロナ前に近い状態で開催されました。

皆様におかれましては、分区の行事、本会保護区の行事と公私にわたり、多忙な1年を過ごされたことと拝察いたします。

近年、事件数は減少していますが、反面難しいケースの担当が増えているように感じられます。また、保護司の活動は、“社会を明るくする運動”にみられるように、多岐にわたっています。これらを支援できるようサポートセンターでは、情報を発信するとともに、風通しの良い保護司会になるよう努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、今年もよろしくお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご活躍を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



## 社会参加活動 報告 岡田洋子保護司 (3分区)

### “クリスマスデコレーションケーキに挑戦”

日時：令和5年12月25日12:00～16:00

場所：さざんか会館栄養指導室

参加者：10名（対象者、保護司、観察官）



緊張の中、スポンジ生地作り。バタバタしながらもみんな立派なスポンジを焼き上げました。次に一番楽しみなデコレーション。イチゴ、黄白桃、お菓子、生クリームを使って個性あふれるかわいくておしゃれなケーキの出来上がり。

試食とお茶をいただいた後、栄養指導室周辺の消毒活動を実施。帰り際の皆さんの笑顔がとても印象的でした。

参加者は1ホールずつ持ち帰りました。



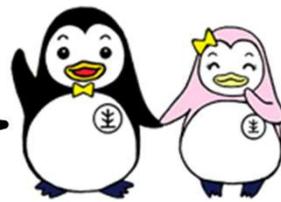
## お知らせ

- ★ 給産会へ掛け時計を寄贈しました。
- ★ 共同募金のお礼  
昨年11月開催の定例研修時には募金（11,119円）にご協力いただきありがとうございます。早速、鳥取市共同募金委員会へ納めました。
- ★ 第1回保護司フォーラムが12月5日エキパル倉吉で開催されました。詳細については、「更生保護ととり第208号」をご覧ください。
- ★ タブレット端末を貸し出しますのでご活用ください。

サポセンの携帯番号  
の登録をお願いします

070-4401-7756

## 新任保護司紹介 (12月1日任命)



なかむら ひとし  
**中村 仁志 (第3分区)**



趣味：盆栽（小作品を中心に楽しむ）  
長く単身赴任生活を続けて、地域とのかかわりが少なかった分、自宅通勤ができる環境となって以来、地域の様々な活動に参加してきました。そうした中で、保護司のお話をいただき、責任の重さに逡巡していましたが、少しでもお役に立てればと思い、意を決しました。  
仕事をつづけながら役割を果たせるか不安はありますが、先輩の皆様方のご指導をいただき、精一杯頑張りたいと思っております。

なかしま さちえ  
**中嶋 幸枝 (第2分区)**

趣味：お菓子作り、料理、小物づくり  
保護司の委嘱をお受けして、改めて大変な任務であることに不安が募りました。保護司にと声をかけていただいたときに軽く認識していた私を恥ずかしく思っています。今現在、在職中の為、様々な研修等に顔を出せないことがあると思いますが、保護司の一員としてどこまでも、一人の人間に寄り添うことが出来る自分になれるように精進してまいりますので、よろしく願いいたします。

## 給産会（更生保護施設）との交流、協力支援

### “そば打ちとかき揚げづくり”

日時：令和5年12月17日9:00～13:00

場所：給産会

参加者：38名（給産会寮生、地域の方、職員、企画調整保護司）

かき揚げ  
最高！



#### 【寮生の感想】

この度、普段ではできない貴重な体験をすることが出来ました。

このそば打ちを通して感じたことは、そば打ちは“人間形成”と相通ずるところがあるという事です。そばは、こね方次第でコシが出て味もおいしくなるものです。人間も同じく、様々な困難を乗り越えて成長していくもの。よく似ているところがあります。私たち寮生はいろいろな事情により“貴重な体験”をしてまいりました。そばを一つ打つにも様々な課程と沢山の人の手がかかわっています。人間関係もそれと共通なところがあります。まさに“人間形成”そのものです。私たちはそんな貴重な体験を“無”にすることなく、この時のそばのように腰を据えて、今後共真の社会復帰のために努力・精進していく覚悟です。

お忙しい中、ご列席いただきました関係者の皆様に改めて心よりお礼申し上げます。そして、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。本当に貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

